

営農ウィークリーNEWS

速報 ネギアザミウマ発生を確認

4月13日、ネギアザミウマ圃場巡回調査にて、伏見区のネギ栽培圃場や、キャベツ栽培圃場にてネギアザミウマの発生を確認しました。

ネギアザミウマは、1～2mmの難防除害虫で、近年では京都府下において、ネギえそ条斑病（IYSV）を媒介することで知られています。

ネギだけでなく、アブラナ科やナス科などにも寄生して加害、品質を低下させます。

今年は、暖冬や急激な気温変化などの影響により、平年より早い発生を確認しており、キャベツにおいても結球していないものにまで寄生しているため、圃場での発生状況を確認し、早期防除をお願い致します。



おすすめ薬剤

キャベツ：ネギアザミウマに登録のある薬剤

平成28年4月11日現在

薬剤名	希釈倍数・散布分量	使用時期	使用回数	使用方法
コルト顆粒水和剤	3000倍 100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布
アフームエクセラ顆粒水和剤	1000倍 100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布
●ディアナSC	2500～5000倍 100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布
●ベネビアOD(※)	2000倍 100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布

●アザミウマ類で登録あり

注意

※ベネビアODは、薬剤の混用（殺菌・殺虫・展着剤等）をすると薬害の恐れがあるため、絶対に混用しないでください。

この情報は、農薬登録を保証するものではありません。農薬登録内容を再度確認する必要があります。

ご使用前に最新の登録内容を必ずご確認くださいませよう、お願い致します。



薬剤によるローテーション散布のお願い — TAC information



近年、アザミウマ類の薬剤による感受性の低下が報告されております。感受性が低下すると、薬剤散布による効果が期待できなくなりますので、同一薬剤、同一系統の連用は控え、他系統の薬剤を使用するローテーション散布をお願い致します。

※散布例

- ①スピノシン系：ディアナSC
- ②その他系統：コルト顆粒水和剤
- ③ジアミド系：ベネビアOD
- ④マクロライド系・IGR：アフームエクセラ顆粒水和剤

J A 京都中央 平成28年4月19日
No.289 作成者 上田 由里子

向島地域 **レタス** 栽培圃場を巡回



4月14日、向島野菜出荷研究部では、JA、京都乙訓改良普及センター同行のもと、レタス栽培圃場の巡回調査を行いました。

今年は、暖冬や急激な気温変化などの影響により、圃場の管理が非常に難しく、各栽培圃場での生育状態や、品質を確認するために行われました。

向島地域のレタスは、**強酸性水**を利用した減農薬栽培に取り組み、近年、求められている安全・安心の取り組みを実施されています。

また、早朝より収穫されたレタスは、その日のうちに市場へ出荷され、4月下旬には出荷最盛期を迎えます。

出荷は5月中旬まで続き、1万4千ケースの出荷を計画されています。



出荷の様子（京印 京都南部青果株式会社にて）

